

平成25年 8月2日
九州地方整備局
佐伯河川国道事務所

扱い 平成25年8月2日（金）14:00解禁

記者発表資料

平成24年 番匠川の水質現況について

本資料は、平成24年における番匠川の直轄管理区間（4調査地点）の概要をとりまとめたものです。

○番匠川のBOD75%値及びBOD平均値は、全ての調査地点で環境基準値を下回っており、良好な水質を維持しています。

○健康項目に関する水質は、全ての地点で水質環境基準値を満足しています。

国土交通省 佐伯河川国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 佐伯河川国道事務所（電話）0972-22-1880

調査第一課 課長 : 眞矢誠一郎
 専門員 : 徳富泰則

【同時発表】 ・国土交通省 河川環境課
 ・九州地方整備局 河川環境課
 ・各河川関係事務所

平成24年 番匠川の水質現況について

1. 河川の現況

河川の水質は、流量の大小によって左右されますが、番匠川における基準地点の低水流量及び年平均流量は以下のとおりです。

流量状況表

(単位：m³/s)

河川名	番匠川		備 考
基準地点	番匠橋		
項目	低水流量	年平均流量	
近年10ヶ年平均	1.830	12.786	近年10ヶ年はH15～H24 H24の値は暫定値。
平成23年	0.19	16.48	
平成24年	4.44	16.21	

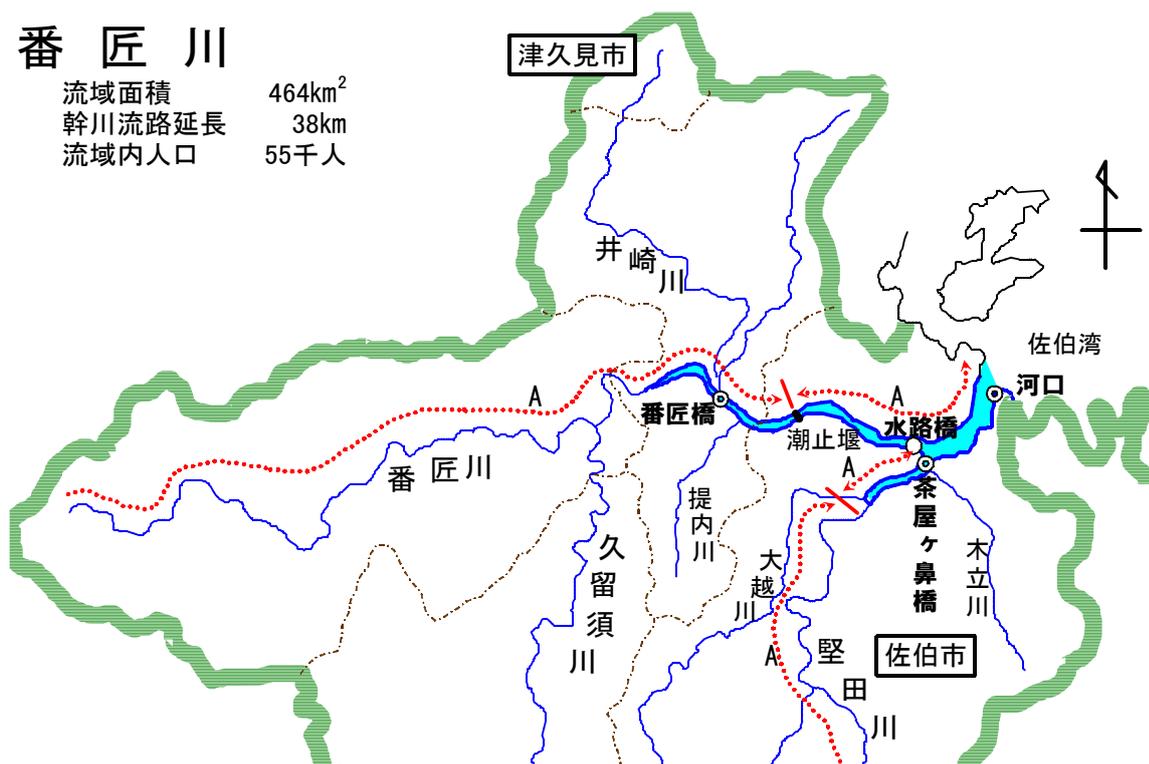
2. 水質調査結果

番匠川における水質調査地点は4地点です。

※生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖畔、海域と利水目的に応じた水域類型を設け、水域水系毎に、PH、BOD、COD等の項目について基準が設定されています。河川はAA～Eの6類型が設けられています。

番匠川

流域面積 464km²
幹川流路延長 38km
流域内人口 55千人



凡 例	
	流域界
	市・町・村界
	環境基準地点
	水質観測地点
	環境基準類型

生活環境の保全に関する環境基準(河川)

水域類型	利用目的の適応性	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	1以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	2以下
B	水道3級、水産2級及びC以下に掲げるもの	3以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	5以下
D	工業用水2級、操業用水及びEの欄に掲げるもの	8以下
E	工業用水3級、環境保全	10以下

1) 生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況
〔BOD（生物化学的酸素要求量）で見た水質現況〕

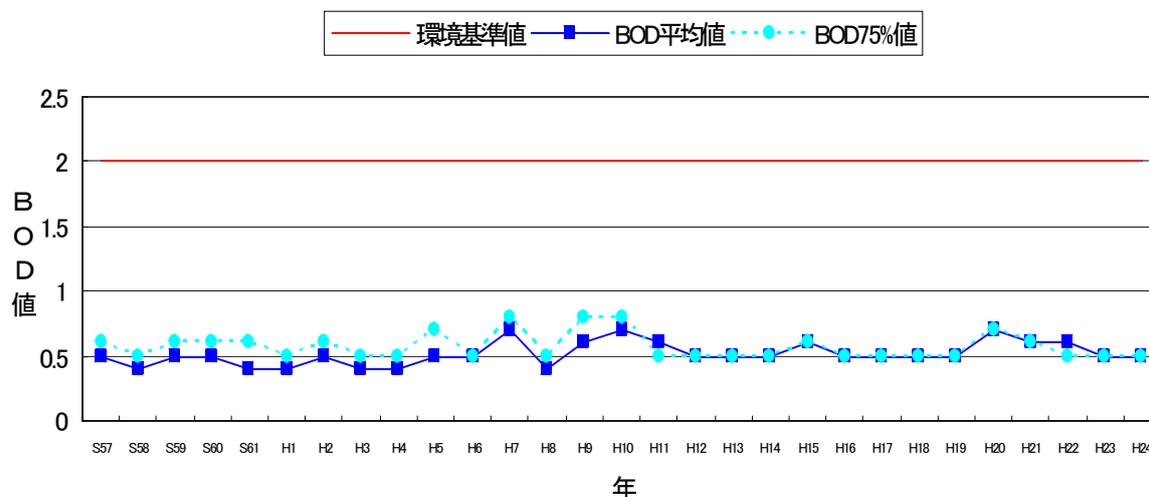
①環境基準値満足状況

環境基準値を昨年同様、全調査時点で満足しています。（表－1）

表－1 河川の観測地点別環境基準の満足状況（H24年：H23年）

水系名	河川名	観測地点名	類型	平成24年		平成23年	
				BOD75%値 (BOD年平均值)	満足状況	BOD75%値 (BOD年平均值)	満足状況
番匠川	番匠川	番匠橋	Ⓐ	0.5 (0.5)	○	0.5 (0.5)	○
〃	〃	水路橋	A	0.7 (1.0)	○	1.7 (1.1)	○
〃	堅田川	茶屋ヶ鼻橋	Ⓐ	0.9 (0.9)	○	1.6 (1.2)	○
〃	番匠川	番匠川河口	Ⓐ	1.0 (0.9)	○	1.1 (0.9)	○
計		4ヶ所			○ 4ヶ所 全 部		○ 4ヶ所 全 部

- 注) 1、類型欄の○印は、環境基準地点。
2、BODにおける環境基準値は、A類型2.0mg/L以下。



図－1 番匠橋地点の水質経年変化図

2) 健康項目に関する水質の現況

人の健康の保護に関する環境基準は、27項目について定められています。平成24年は、3地点で25項目、総検体数57検体について調査を実施しましたが、全地点で環境基準値を満足しています。

3. 水生生物から見た河川水質の現況

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、中学生や小学生、一般市民の参加を得て、昭和63年から水生生物による水質調査を実施しており、平成24年は8月から9月にかけて、7地点で26人の参加を得て調査を実施しました。

その結果、7地点全てで「きれいな水」の評価でした。

表－3 水生生物による簡易水質調査結果

河川名	直轄管理 区間延長	調 査 地 点		調査実施日	調査機関団体名	参加 人員	水質階級		
		No	河口からの距離				地点名	H24	H23
番匠川	19.0 km	1	9.0 km	番匠橋	H24.9.11	佐伯河川国道事務所	—	I	I
番匠川	〃	2	12.4 km	白尾橋	H24.8.13	佐伯河川国道事務所	—	I	I
番匠川	〃	3	15.0 km	常盤堰	H24.7.31	佐伯市立鶴谷中学校	11	I	II
番匠川	〃	4	15.8 km	森下橋	H24.9.11	佐伯河川国道事務所	—	I	I
久留須川	8.7 km	5	本川合流点から 10.0 km	中津留橋	H24.8.13	佐伯河川国道事務所	—	I	I
井崎川	3.6 km	6	本川合流点から 0.1 km	小股橋	H24.8.13	佐伯河川国道事務所	—	I	I
堅田川	2.5 km	7	本川合流点から 9.8 km	青山河川公園	H24.8.7	佐伯市立昭和中学校	15	I	I

※水質階級	
I	きれいな水
II	ややきれいな水
III	きたない水
IV	とてもきたない水

4. 水質事故の状況

平成24年については、番匠川水系における佐伯河川国道事務所管内では、水質事故は発生していません。

参考資料

水質用語

[河川水の汚濁]

し尿や厨房排水に代表される有機物による汚濁が水質汚濁の基本的なものです。有機物は微生物の働きにより分解されて無機化、ガス化されますが、その過程で水中の溶存酸素が消費されます。溶存酸素は空気や水中植物の光合成によって供給されますが、有機物の量が多いと供給が間に合わず、溶存酸素が欠乏し、魚をはじめ水生生物が棲めなくなります。この状態が進むと、ドブ川の状態になります。

[BOD] (生物化学的酸素要求量)

水中の汚濁物質(有機物)が微生物により酸化分解され、無機化、ガス化するときに必要なとされる酸素量です。環境基準では河川の汚濁指標として採用されています。通常は20℃の暗所で5日間培養したときの酸素消費量(BOD₅)で表します。

[COD] (化学的酸素要求量)

水中の汚濁物質(主として微生物)を酸化剤で化学的に酸化するとき消費される酸素量です。環境基準では海域及び湖沼の閉鎖性水域の汚濁指標として採用されています。

[BODとCODの使い分け]

河川では汚濁物質は流下し、海域や湖沼では滞留するという特性があり、河川では流下する間に微生物が分解可能な有機物を対象に、閉鎖性水域では分解作用が長時間にわたるため全有機物を対象にして有機汚濁を考えています。

[75%値]

BOD及びCODの環境基準の満足状況は公共用水域が通常の状態(河川にあっては低水流量以上流量)にあるときの測定値によって判断することになっていますが、低水流量の把握は非常に困難であるため、測定された年間データのうち75%以上のデータが基準値を満足することをもって環境基準に適合しているとみなすことになっています。

すなわち、1年間に測定された日平均値の全データを小さいものから順に並べ、 $0.75 \times N$ 番目(Nはデータ数)のデータ値を環境基準値と比較して、適合、不適合の判断をします。

[人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)]

1. カドミウム	11. 1,2-ジクロロエタン	21. チオベンカルブ
2. 全シアン	12. 1,1-ジクロロエチレン	22. ベンゼン
3. 鉛	13. シス-1,2-ジクロロエチレン	23. セレン
4. 六価クロム	14. 1,1,1-トリクロロエタン	24. 硝酸性窒素及び亜硝酸
5. 砒素	15. 1,1,2-トリクロロエタン	25. ふっ素
6. 総水銀	16. トリクロロエチレン	26. ほう素
7. アルキル水銀	17. テトラクロロエチレン	27. 1,4-ジオキサン
8. PCB	18. 1,3-ジクロロプロペン	
9. ジクロロメタン	19. チウラム	
10. 四塩化炭素	20. シマジン	